

人物風土記

題字は
山中竹春 横浜市長

ラグビーは人生そのもの

○：10月8日開幕のラグビー女子15人制W杯の代表選手として初めて選出。攻守にわたりチームの中心となるリーダーポジション「ナンバーエイト」に唯一登録された。普段は区内女子ラグビーチーム「YOKOHAMA TKM」に所属しながら、通算10回の国際試合に出場するなど活躍。「自分が世界にどこまで通用するのか楽しみ」と期待に胸を膨らませる。



区内女子ラグビー「YOKOHAMA TKM」所属選手としてW杯日本代表に選出された

永井 彩乃さん

港北区在住 24歳

○：今年初の大会優勝を飾ったTKMについては「みんな優しくメリハリがあり、一番私にあっていいる」とチーム愛を打ち明ける。ラグビーについて聞くと「人生そのもの」。けがなど辛い時でも、これがあったから助けられた。将来は競技のさらなる普及、指導への情熱ものをこせした。

だったが、恵まれた体格から見出され見事合格。熱中したのはそれから1年後。「体の大きな先輩にタックル練習をしていたら自分で倒せて。あれ、楽しいぞって」。初出場。惨敗だったが、

務。「去年までは共立の初の大舞台に挑む。

「いたるところにチームポスターがあって、町中が応援してくれているんだなど実感します」。

「どうすれば海外の大きな相手を倒せるんだろう」という新たな目標も生まれた。去年は右足を疲労骨折したものの、今回そのけがも乗り越え、本部で公開講座などのポスター制作に携わる。区内については「堤防沿いの桜など雰囲気が好き」。